

6月議会が始まります

皆さんの声と
願いを届けます

くらし、平和、文化をめぐって、北九州市と市民は大きな問題に直面しています。

くらしの問題では、円安・原油高による食料品価格などの高騰で、2人世帯以上の家計支出額が23年度に比べ、10万円ほど増える見通しとの試算が出されました。65歳以上の「介護保険料」は最も高くなりました。増えるばかりの市民負担。それなのに武内市政は、生活保護予算をはじめ1288事業で151億円もの削減を進めようとしています。

平和の問題では、北九州空港が「特定

利用空港」として選定され、軍事利用の拡大が懸念されます。しかし、武内市長はいまだに、その経過や懸念について、市民にも、議会にもまともな説明をしていません。

文化の問題では、国史跡に指定される可能性もある「初代門司駅」関連遺構の全面保存を求める声が広がっているにもかかわらず、市民とまともに向き合わず、遺構の破壊に突き進もうとしています。

くらし、平和、文化を守る市政、市議会をと、今こそ市民の声を広げるときです。

家計の年収別負担増額 (前年度比)

年間収入	2024年度負担増額(円)
300万円未満	6万8107円
300～400万円	8万3911円
400～500万円	9万4438円
500～600万円	9万8787円
600～700万円	10万7594円
700～800万円	11万3741円
800～900万円	12万8361円
900～1000万円	14万609円
1000万円以上	16万5564円
全体平均	10万5506円

▼▲東京新聞 5/15 付け記事などより

主要都市の平均介護保険料基準額

	2021～23年度	2024～26年度
埼玉県	5481円	5922円
千葉県	5385円	5885円
東京都	6080円	6320円
神奈川県	6028円	6340円
愛知県	5732円	5957円
大阪府	6826円	7486円
兵庫県	6001円	6344円
福岡県	6078円	6295円
北九州市	6073円	6295円

2023年度に比べ、24年度の家計支出額は10万円以上の増いみずほリサーチ&テクノロジーズの試算で、こんな結果が浮かび上がってきた(「東京」6月15日付)。

米国や中東などの海外情勢を受けた円安や原油高により食料品などが値上がりするこ

円安・原油高…国際情勢などの影響で
家計負担10万円増に
市民のくらし応援こそ
市政の役割

65歳以上の介護保険料
当初の2倍以上 過去最高に
2024年度からの65歳以上の介護保険料(月額)が、全国平均で過去最高を更新

新、月額平均で6320円になったことがわかりました。2000年度の介護保険制度導入時に比べ2倍超になり、自治体によっては1人当り年間10万円以上となるところもありません(上表)。

北九州市は、21年～23年度は6073円でしたが、24～26年度は217円増の6295円となります。家計負担増に加えて介護保険料のアップです。

40団体
500人が参加

雨の中、北九州統一メーデー開催 市議団が参加

5月1日、小倉北区の勝山公園で第95回北九州統一メーデーが開催され、40団体、500人が参加しました。



市議団はあい

さつの中で、北九州空港が特定利用空港に選定された問題について、軍事利用の危険性が一層強まってきていると強調し、「市民の暮らしを守り、戦争する国への暴走を許さないため、力を合わせよう」と呼びかけました。

くらし応援市政へ
「稼げるまち」を掲げる武内市政は、生活保護費の16億円削減、草刈り費用のカットをはじめ、市民のくらしを応援するどころか、一層の負担を市民に押し付けてきています。くらし圧迫市政からくらし応援市政への転換こそ求められています。

6月議会質問内容



- 藤沢 加代 議員**
(会派質疑 60分)
- ◆専決処分、定額減税について
 - ◆道路、河川、公園等における除草事業について
 - ◆門司港地域複合公共施設整備事業について



- 高橋 都 議員**
(一般質問、60分)
- ◆初代門司駅遺構について
 - ◆給食問題について
 - ◆生活保護世帯のエアコン設置について



- 伊藤 淳一 議員**
(一般質問、60分)
- ◆地域防災対策について
 - ◆介護事業について



- 大石 正信 議員**
(一般質問、60分)
- ◆北九州空港の軍事利用問題について
 - ◆指定管理者制度の見直しについて
 - ◆予算事務事業の見直しについて
 - ◆北九州市立大の運営のあり方について

6月議会日程

本会議(開会、質疑・一般質問)	6日(木)
本会議(一般質問)	7日(金)
常任委員会	10日(月)
常任委員会	11日(火)
常任委員会	12日(水)
常任委員会/議会運営委員会	13日(木)
本会議(閉会)	14日(金)

※請願・陳情の締め切りは6月6日(木)です

※質問項目は変更の可能性があります。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

発行 日本共産党北九州市会議員団 北九州市小倉北区内1-1 TEL (093) 582-2646 FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 ホームページアドレス⇒

市議会ニュース

2024.5.29
No. 585



特定利用空港・港湾問題

なぜ違う 市民への対応

高知県は独自の「Q&A」作成 北九州市「意見を言う立場にない」

政府は特定利用空港として北九州空港を選定しました。当初38カ所を選定候補としましたが、半数以上はまだ合意していません。

国は武力攻撃事態等の「有事」ではなく、「平時」を対象としたものと説明してきましたが、それには、米軍への補給ができる「重要影響事態」や、米軍とともに武力行使(集団的自衛権の発動)する「存立危機事態」を含むことを認めています。国の思惑次第で軍事利用が拡大されることになりかねません。

問題なのは、自治体によって、その対応に大きな違いがあることです。

高知県では高知港が特定港湾に選定されましたが、県議会では活発な議論が交わされ、選定の受入れの可否に当たり「特定利用港湾・高知県版Q&A」まで作成、県民の声に耳を傾け、不安に応えようとしています。

一方、北九州市は市議団や市民団体との交渉



軍事利用も可能となる北九州空港



党市議団、市民団体が市に選定反対の申し入れ

の場で「地元自治体としては聞き置いたということで大丈夫だったので、それ以上のことは聞いていない」「国の判断なので、何もやりとりはない」「意見を言う立場になかったということ」などと、まるで他人事のような回答を繰り返すだけでした。

。「安保3文書」に基づいて、市民の頭越しに進められている基地強化、民間施設の軍事利用、特定利用空港問題について、詳しく話を聞く予定です。田村貴昭衆院議員が同席します。

くらし豊かに

くらし、平和最優先の市政実現へ



遺跡破壊に固執する武内市政

初代門司駅
遺構保存問題

市民、専門家が一致団結し保存要望へ

遺跡破壊に固執する武内市政。初代門司駅「初代門司駅開

出。しかし市長も教育長も「所用」を理由に面談に応じませんでした。要望書提出後、一行は、日本共産党市議団などと懇談。その後の記者会見で日本イコモス国内委員会の岡田保良委員長は「世界文化遺産に認められる価値がある」と語りました。



市議団と懇談する学術団体代表

署が独立した『課』ではなく、市長部局が補助執行しているところ。問題がある。これをやめさせ、文化財部を独立した『課』に引き上げるべき」と指摘します。

魚町3丁目で火事

1985年以降
市内で24件にも

市場・商店街火災の防止対策を！

2024年4月20日、小倉北区魚町3丁目の商店街で火災が起きました。出火原因は消防が調査していますが、火の不始末ではなく、電気系統のトラブル、漏電との指摘も出ています。市内では古い木造の商店街も多く、電気設備の改修とともに、「建物の建て替えが必要」との声も上がっています。

小倉北区では旦過市場の2度の火事を含め、この2年間で4件発生し、北九州市内における市



火事発生翌日の4月21日、現場を視察する党市議団。商店街火災は1985年以降、24件となります。

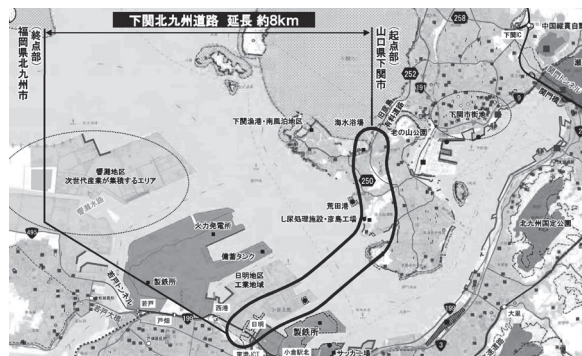
市議会も今年2月の議会で党市議団提案の「商店街・市場の火災を予防するための対策の徹底強化を求める決議」を全会一致で可決しています。

日本共産党各議員の常任委員会配置 (◎委員長、○副委員長、☆議会運営委員)

総務財政委員会 大石 正信	経済港湾委員会 高橋 都	教育文化委員会 ◎永井 佑 藤沢 加代	保健福祉委員会 荒川 徹 伊藤 淳一	環境水道委員会 出口 成信	建設建築委員会 ☆○山内 涼成
------------------	-----------------	---------------------------	--------------------------	------------------	--------------------

基地問題で政府交渉

福岡県内の基地問題で7月10日、防衛省、内閣府、国土交通省などとの政府交渉を行います。



下北道路のルート素案 (当局資料より)

下関北九州道路について党市議団は「過大な事業予測とバラ色の事業効果」とは裏腹に、①必要性、②採算性、③危険性のどの面から見ても問題であること、を指摘し、「だれも責任を取らない巨大開発事業失敗のツケを、市民に回してはならない」と反対を貫いています。

国がらみの利権

下関北九州道路

安倍-麻生道路 動き出す

北九州市と下関市を結ぶ下関北九州道路(別名 安倍・麻生道路)計画が動き出しました。国土交通省などは5月10日、ルート素案(下関市の旧彦島有料道路付近から小倉北区の北九州都市高速道路・日明出入り口付近までを橋梁でつなぐ計画)を提示しました。5月末から6月初旬に地権者説明会を開催して25年度末ごろの都市計画決定を目指しています。